

情勢の大いなる転換をめざして

安保破壊・非武装中立・大学改革を担う 新たな学生運動を創出しよう

6.15を全都、全関西の自治会の共同行動で闘おう！

日高東大教授ら文化人のよびかけにこたえ、今全国的にベトナム反戦、沖縄返還さらには安保破壊へ向け全平和勢力の強大な闘いが準備されつつある。そしてその力をすべて結集し6月15日に大闘争が展開されようとしている。それは東京に於ては国家包囲デモ、そして大阪に於ては御堂筋デモとして準備されている。安保以後の政府によるデモ権の制限に対し、再度我々が公判闘争をもふくめデモ権を新国として奪還しなければならない。広範な労働者、市民、文化人のたちあがりの中で、我々学生戦線も、その力を最大限結集し統一的にこの闘いを成就させようではないか？

◎「全学連」をなす民青、三派系、革マルの諸君！

全学連の旗をおろし自治会のもとに結集せよ！そして自治会の共同行動としてこの闘いを統一的にとりくもつではな

いか？ 党派別の「全学連」をつくり出すことにより決して統一はかちとれない。それは学生戦線の分裂を固定化するものにすぎない。たとえ思想が異なるうと行動の統一が運動の原則ではないか？ 自らの正当性のみを主張する民青諸君！ 君たちの行動はセクト主義以外のなにものでもない。三派系諸君！ 全学友の結集する闘いをくみえずして真に「戦闘的」な闘いも「同じ全学連」も形成しえない。全学友の結集した自治会の共同行動、そのようなものとして自治会共闘がある。自治会共闘が今かならずしも自治会共闘が自治会代表制により運営が十分なされていないとしても、我々はそれを闘いを通じ早急に克服するなかで、自治会共闘の強化をはかる必要がある。なぜならそれが最も原則的であり共に闘いを発展させる道だからだ。

6.15を総評、反戦青年会、市民、文化人と連帯して闘おう！

6.15に対し総評は大規模なとりくみをすすめている。安保闘争を前に労働戦線に於てはいまだ十分に反戦平和闘争がとりくみえていない。しかしながら今回のとりくみにもみられるように、一定のとりくみが進みつつある。我々はこの

ような労働者との連帯の中で労働者の運動をも強める方向で共同闘争をすすめる必要がある。すなわち市民、労働者と連帯し、安保条約の破壊、非武装中立をめざし我々のすべての力を結集してゆこうではないか？

6.15を安保破壊、非武装中立の闘いの第一歩としよう！

我々は現在まで一貫して政府の侵略加担に反対し、沖縄の基地撤去、全面返還の闘いを展開してきた。それにも関わらず政府は侵略加担、軍備強化の中で沖縄の核つき返還から安保の強化をめざしている。我々は過去の運動の成果をふまえ、佐藤内閣打倒から安保破壊の闘いへと前進せね

ばならない。50年安保闘争の敗北を再びくりかえす事なく労働者を中心とした新しい闘いを始めてゆこう！ そして安保破壊非武装中立のかがやかし70年代を我々の手でつくり出そうではないか？ 6.15を全平和勢力の統一と団結で安保闘争の第一歩としよう！

— 佐藤内閣を打倒し安保破壊非武装中立の70年代を！ —

革新グループ